

ガバナー



月信

前大徳の道



5

May 2018
Vol.11

Governor's Monthly Letter

国際ロータリー第2630地区
2017-2018年度
ガバナー 田山雅敏



余野公園つつじ祭り (5月13日(日) 10:00~14:00 伊賀市栢植町1065-4)

Contents

- 第2630地区 ガバナーメッセージ …… 2
「『青少年奉仕月間』によせて」
- 地区インターアクト委員長 …… 3
「『青少年奉仕月間』によせて」
- ガバナー補佐 一年を振り返って …… 4
- 地区委員長 一年を振り返って …… 7
- グローバル補助金の活用と今後の打ち合わせ〜タイ地区大会報告〜 …… 12
- 委員会活動報告 …… 13
- 出席報告 …… 14
- 会員動静報告 …… 15

Rotary



ロータリー:
変化をもたらす

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





「青少年奉仕月間」によせて

2017-2018年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

田山 雅敏

新緑が眩しい今日この頃です。この時期は新しい生命がその動きを活発にする頃です。私はこの季節が一年の中で最も好きです。躍動感そして未来への飛躍を感じるこの季節は何かにつけワクワクします。そして今月はロータリーにとってとても大切な「青少年の奉仕」を考え行動に移していく月間です。「青少年奉仕」を考えるには一番いい時期でもあります。「インターアクト」「ローターアクト」「青少年交換」「青少年育成」そして「米山」の各委員会の活躍には敬意を表しています。もっと多くのロータリアンに、これらの事業について更に理解を深めると共に参画して頂きたいと思っています。

この春には4地区合同の青少年交換スキー合宿事業が長野白馬村で開催されました。白馬RCの方の献身的な活躍、そして各地区青少年交換委員会のリーダーシップにより、関係者を含め200名近い大会は無事に終了することができ、各国より来日中の交換学生やこれから海外に羽ばたく学生を見て熱いものを感じることができました。

今月は四日市でローターアクトの年次大会が開催されます。昨年の海津市での大会は印象深い大会でした。今年も大いに盛り上がることを期待しています。ローターアクトは18～30歳の若者を対象に、奉仕を目指す将来の指導者の育成をするためにロータリークラブが提唱する団体です。当地区では残念ながら8つのローターアクトクラブしかありません。ローターアクトはその維持、存続が大変難しくなっておりま

す。未来を背負う若者たちへ奉仕の理想を伝達すべき我々大人のロータリアンの努力が不可欠なのです。私はローターアクト活動は地域のロータリアンの熱意にかかっていると思っています。ローターアクト活動へのサポートを通して、ロータリアンとして是非ご活躍頂くことを祈念申し上げます。

先日米山の本年度の修了式が名古屋であり、10名少しの留学生の修了スピーチを聞く機会を得ました。更に進学する子や就職する子や将来はまちまちですが、いずれ日本とのかけ橋になってくれると大いに期待した次第です。今年の3月に日台親善会議が台湾の高雄で行われました。私の隣席は昭和50年代に米山奨学生として留学していた紳士が座られていました。つい最近まで台湾のセブンイレブンの経営責任者をしていただとお話し頂き、「大変米山に感謝している。今この歳になって若い人達の為にできることを常に意識してやっている」とのお話を伺いました。ちなみに台湾には台湾独自の米山会が設立されており、台湾で学ぶ外国の人達をサポートしているとのことでした。

今月の「青少年奉仕月間」を通して、皆様にはもう一度青少年育成をお一人お一人そしてクラブでもお考え頂き、何か新しい事業にチャレンジし、ロータリーの価値を更に高めるクラブ作りに邁進頂ければ有難く存じます。この新緑の眩しい季節に、更に私達の情熱を若い人達と共に高め歩むことを希望します。



「青少年奉仕月間によせて」

青少年育成小委員会委員長

下田 徳彦

5月は青少年奉仕月間です。当地区の青少年奉仕部門には、インターアクト委員会、青少年交換委員会の2つの委員会とローターアクト小委員会、青少年育成小委員会の2つの小委員会があります。また5月にはローターアクトの年次大会をはじめインターアクト教師部会、青少年育成セミナーの各行事も開催されるため、青少年奉仕に対する意識が高まる時期でもあります。青少年奉仕部門における委員会活動の歴史を振り返ると、1962年にロータリークラブの提唱によりインターアクトクラブが設立、その後1968年にローターアクトクラブが設立されました。1971年にはRI理事会は正式にロータリー青少年プログラムとしてRYLA を採択され、1972年に他国のロータリアンのホームステイによる青少年交換プログラムが始まり、これらはRIの常設プログラムになっています。

当地区における青少年奉仕活動の特長に、青少年育成小委員会が推奨実施している「出前講座（おじさん先生）」の事業が挙げられ、これまで地区内の約4割のクラブで実施されています。この活動の経緯は2003年より将来を担う若者たちに勤労観、職業観を育み、自立できる能力をつけることを目的とした「キャリア教育」の考え方が広まり、それに合わせ鈴鹿市内の4つのロータリークラブにおいて地元中学校を対象とした「おじさん先生」事業が積極的に開催されるようになり、その後鈴鹿市教育委員会と連携をしながら現在に至っております。また鈴鹿市の活動事例

を参考にして、高山市内において2010年より「出前講座」事業が始まり、2014年には高山市教育委員会と連携し、さらに活動が拡大し2018年2月には「出前講座」を中心とした高山市教育委員会のキャリア教育の活動が文部科学大臣表彰を受賞しました。まさに本事業活動においてロータリーが与えた影響は絶大であると感じています。

現在青少年育成小委員会の委員長として、改めてキャリア教育の重要性を痛切に感じ、「出前講座」はロータリーが地域と積極的に関われる職業奉仕活動であり、RIの今年度テーマ「変化をもたらす」とも一致し、地区活動方針「未来を創造しよう」を具現化できる活動であると確信しています。更に次年度RIテーマ「インスピレーションになろう」にもつながる活動であると感じています。

最後になりますが、これからのキャリア教育の活動において地域企業との関係性は益々高まり、「出前講座」のニーズも益々高まってくると思います。ロータリアンがこれまで培った学校や行政との信頼関係を礎に、インターアクト、ローターアクト、青少年交換の委員会とコラボレーションし、ロータリーの組織力とネットワークを活かした「キャリア教育」の活動が実現できれば、青少年奉仕部門のそれぞれの委員会活動も活性化され、地域における公共イメージと認知度の向上に必ずつながり、大きなプロジェクトに変わると信じています。

ガバナー補佐 一年を振り返って



多様なロータリー 1年を振り返って

岐阜Aグループガバナー補佐
箕浦 洋和

本年度グループ内5クラブを各々数回訪問させて頂きました。又7月29日岐阜AグループI.M並びガバナー公式訪問合同例会を皮切りに、他グループI.Mにも半数以上参加致しました。その上数多くの地区主催各委員会・セミナーにも出席致し、多くの会員皆様との厚誼を深められる機会を与えて頂き心より感謝申し上げます。

そこで学んだ事はグループI.Mの仕組み、会の進め方、講師等もそれぞれの特色を生かされ開催されているし、各クラブ例会も奉仕活動への取り組み等々多くの工夫がありました。そして何よりも大なのは普段あまり交流が少なかった皆様とも親しく接する時間を共有できた事です。会員の多くは伝統あるクラブ諸先輩方の歩みを正しく理解され、奉仕活動を一層充実された世代へとその精神を引き継がれようとしています。

その場で教えられた事は「ロータリーは理解の方法・考え方・価値の見つけ方に色々な答えがあり、その答えの違い・多様性がロータリーの価値を高める。」と就任当初の挨拶で申し上げました言葉が間違っていなかったと改めて認識致しました。

この様な素晴らしいロータリー皆様への感謝と、今後の活躍と健勝をご祈念申し上げ、年度のご挨拶とさせていただきます。



一年を振り返って

岐阜Bグループガバナー補佐
杉山 令憲

昨年の7月の期首クラブ訪問は、初めての経験で緊張したことです。しかしどのクラブも温かく迎えていただいてロータリーの友情を感じた次第です。また9月2日(土)の6クラブ合同例会並びにIMには、各クラブの皆様にご協力を頂き無事終えることができました。特にIMが思い出に残ります。第2630地区以外からバスタガバナーをお招きしてのシンポジウム「10年後のあなたのクラブはどうなっているのか」のテーマで、副題として「2016年規定審議会から見えるこれからのロータリー」を掲げて開催いたしました。参加の会員の皆様にご理解いただけたのか、不安が残る事でした。しかしながら時間の経過とともに意義あるIMであったと感じています。

その後の中間クラブ訪問は、和やかな雰囲気の中で会長幹事懇談会そして例会参加を楽しませて頂きました。あとは、5月に控えている第4回目のクラブ訪問を次期ガバナー補佐とともに参加し、次期への継続が進むよう取り組んでいきたいと思っています。会員各位のご協力に感謝するとともに、素晴らしい機会を与えていただいたロータリーに感謝する次第です。



一年を振り返って

岐阜西濃グループガバナー補佐
藤井 徳充

先ずもって、田山ガバナーをはじめバスタガバナーの皆様、そして地区役員・幹事の皆様には何かとご指導を賜り厚く御礼

申し上げます。また、岐阜西濃グループ内の会長、幹事様をはじめ会員の皆様には地区大会やIMなど様々な行事に、ご理解とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

一昨年、エレクトとしてガバナー補佐のセミナーも済ませ、準備を始めた矢先に医師より肺がんの宣告を受けました。セミナーを済ませた後であった為、皆様にご迷惑をお掛けすることもならず、これも天命と心に決め役目をお受けしました。

今回、未熟な私が役目を頂く中で大きな学びを頂くことが出来ました。それはいかに自分がロータリーのことを知らなかったかということを知ることが出来た事です。それまで見ていた世界とは異なる、そして私の視野をはるかに超えたロータリーがそこにありました。単なるボランティア団体であったなら、単なる親睦団体であったなら、世界各地に120万人を超えるロータリアンが生まれるはずはありません。長い歴史の中で、奉仕の理想を追求する数多くのロータリアンが築かれた崇高な精神の一端を学べたように思います。役目は終わりますが、各クラブの益々のご発展をご祈念申し上げます。



任期終了に当たり

岐阜東濃グループガバナー補佐
佐藤 八郎

私どもの東濃グループの8クラブの会長は、行動派、理論派、実戦派が揃い、多士済々のリーダーの下、この1年、クラブの主体性はしっかりと堅持され、委員会活動は活発になされ、クラブ協議会は効果的に運用されてきました。毎週クラブより送られるウィークリーには、素晴らしい活動の記録が明瞭に満載されていました。

私は、「第2630地区東部戦線異状なし」と豪語させて頂きましたが、東濃グループ8クラブを、心から誇りとします。そして各クラブの伝統に敬意を表します。行き届かないガバナー補佐を支えて頂きました、クラブ会長さん始め、グループの全会員さんに、心から感謝申し上げます。

最後に、個人的な職業奉仕、社会奉仕よりグローバルなボランティア志向に、舵を切るR.Iの動向が矢張り気がかりです。このまま意識のギャップが拡大すれば、日本のロータリーは世界から孤立の懸念ありと心配です。孤立は絶対避けねばなりません。対策を始める要ありとします。

ガバナー補佐の守備範囲外に触れさせて頂きました。

ロータリーの前途が、ますます安泰、盤石たらんことを祈るのみからです。



一年を振り返って

東海北陸道グループガバナー補佐
伊佐地 金嗣

2017～2018年度のガバナー補佐の大役を拝命して、今日まで活動してまいりましたが終わろうとしており、ホッとしているところでもあります。

今年度、国際ロータリー イアンH. S. ライズリー会長は、テーマ「ロータリー：変化をもたらす」と提唱され、第2630地区 田山ガバナーは『未来を創造しよう』…10年後のロータリーは…と掲げられました。目標を少しでも達成していこうと昨年7月から各クラブを訪問し、またガバナー訪問の折には同行しました。始めはその趣旨がうまく伝達できず、大変苦慮したもの

ですが、各クラブの会長方々、しっかりしたクラブ目標を掲げて目標に向かって活動されていることに感服した次第です。

殊に、会員の増強の問題は、各クラブ共大変苦慮されている様子がわかりますが、これという妙案が出てこないじまいでした。しかし、会員が増えることはクラブの活動の活性になることは間違いのないわけであります。私としまして、これと言うアドバイスも出来ませんでした。改めてガバナー補佐の役目は何なのか自問している今日であります。

任期を終えるにあたり、次期ガバナー補佐に何を伝えたらよいか分かりませんが、今日までお支え戴きました各クラブ会員の皆様の友情に感謝申し上げます。



ガバナー補佐を振り返って

濃飛グループガバナー補佐
井尾 達之

振り返ると1年前、次期AGとしてグループ内各クラブを前AGの長瀬氏と同行訪問した。会長・幹事と懇談した。その際の長瀬氏の質問がとても適切で、自分はAGとして氏の様なAGになれるか、急に心配になった事を覚えている。そして7月になりいよいよ本番。各クラブの会長・幹事さんとの例会前の1時間。今思い出すと、この1時間の充実した話し合い、私にとって何と勉強になったか。AGを拝命し心配も多かったが“AGを受けて良かった”と心から思えた時であった。

濃飛グループは可見市から高山市まで大変距離も有り訪問には時間もかかり大変でしたがそれにも負けず、訪問の度に各クラブから発展的意見を出して頂き、それに沿って着実に行動している。この様子を見る事は心がワクワクする思いでした。

AGとなり、田山ガバナーの考えを理解し、それを各クラブに伝達し、地区全体の進むべき方向を差し示す。そのように思っていました。しかしながらその仕事は私の力足らずにより、思うようには出来ませんでした。

こんな私を最後までAGとして支えて頂いた各クラブ、各会員に感謝いたします。ありがとうございました。



一年を振り返って

桑員グループガバナー補佐
長瀬 浩

ガバナー補佐の一年が始まる時、心もとなく不安でしたが、無事に終えようとしております。今年度は会長幹事・現次期AGによる特別例会訪問や忘年会、下半期の合同例会の実施で例年以上に4RC間の交流を図りました。これらが実現したのは各クラブからの多大なご協力のお陰です。

また5月に桑名中央RC創立25周年、6月には桑名西RC40周年、桑名北RC20周年式典を挙げるという桑員グループにとっては大変喜ばしい年になりました。

一方、地区内で一番若い桑名北RC誕生以降新クラブの設立が無いことは、既存のクラブの存続に精一杯だった現実を表しています。

会員増強以前に維持すら困難な今、新たなプロジェクトを開始するのも容易ではありませんが、現状を受け入れながら事業を推進していけるのもロータリーだと確信しています。

自分自身がクラブのため、桑員グループのためになすべきこ

とをどこまで果たせたのかを顧みると反省と後悔が尽きませんが、至らなかった私を支え導いて下さいました皆様へ心より感謝申し上げます。



一年を振り返って

四日市グループガバナー補佐
佐久間 紀

私のようなガバナー補佐を一年間支えていただいた、田山ガバナーはじめ地区役員の皆様へ先ずもって厚く御礼申し上げます。また、他グループのガバナー補佐の皆様方、四日市グループの5RCの会長・幹事及びロータリアンの皆様方、更には地区へ温かく送り出してくれた四日市南ロータリークラブのメンバー各位に、深く感謝申し上げます。

2017～18年度のスタート以来、ロータリーの未来を創造するために「グループ内各クラブの会員平均年齢の伸びにキャップをはめよう。」という思いで、会員増強とともに平均年齢の増加を防止する方向での活動を各クラブにお願いしてきました。結果としては、成果が上がったクラブ、思うように上がらなかったクラブとそれぞれですが、各クラブが平均年齢については、明確に意識し引き下げる努力をしない限り年々上がってしまう、との共通認識を持っていたことには意義深いものがあったと考えます。振り替えると一年間というのはあっという間に過ぎていくものです。大変貴重な経験をさせていただいた感謝と次年度のガバナー補佐のご活躍に期待を込めて、エールを送ります。



ガバナー補佐性格論とその回顧録

鈴鹿・亀山グループガバナー補佐
河田 勝正

一、はじめに ロータリーとは何か?その意義と限界即ち本質追求は我々ロータリアンのまたなき務めである。2017-18年度RIライズリー会長のテーマ「ロータリー：変化をもたらす」次いで第2630地区田山雅敏ガバナーの地区活動方針テーマ「未来を創造しよう」…10年後のロータリーは…に対して、私のミッションは個別的具体的理論、実践の橋渡的存在としてグループ内の各会員にどこ迄浸透出来るか、であった。処で、ガバナー補佐指名受諾するに際し、事業の第一線・経営者とし現役の立場が最大難関で、何度も辞退するもロータリー観の「集大成」「ロータリーの精神的物質的基盤再構築」の最後の場として自分を納得させた。

二、問題提起 ロータリーは今や創立以来、大変革・大転換期を迎えている。2007年規定審議会制定案07-329に端を発し、2016年4月の審議会に於いては、日本のロータリーの根幹をなす「職業奉仕」概念を削除し、「人道的奉仕・社会的奉仕」を第一義に掲げている。その基本的視角の変換は「史的考察」からも創立目的に反しているものではないか。ロータリーの社会的経済的生成基盤は、職業奉仕が基礎となり、113年の経過という厳然たる事実が存す。RI!クオ・ヴァディス(汝 何処へ行かん!)

三、個別的具体的展開 一会員増強対応策について一

RI立法機関である規定審議会、制定案2016年版は歴史的な大改革であり、総ての改正はクラブの自主性に重きを置き、「会員増強」に通じる道である。

増強策は、RIの意に反し形式的技術的には「職業分類表」

の未充填業を補填することである。一見、形式的にみえるが、実は目標確保の為の強力な手段である。然し私見は、実質的内容的側面において現会員がロータリアンとしての、あるべく姿を追求し、原点に戻り「奉仕の理想実現」に邁進すべきである。それは「魅力あふれるロータリー」作りであり、必然的に入会者が集まるものである。結論はAs You Like It!

四、おわりに 再度問う、「ロータリーとは何か」ポールハリスいわく「ロータリーとは(人生)哲学」である。私はロータリーが好きである。哲学的命題ではあるが、好きに理由はない。そこから出発し、ロータリーの課題解明の第一歩は「問題意識の明確化」である。そしてロータリーの原点に戻り自分なりの自主性、主体性をもったロータリー理論の「再構築」である。

究極の一言 Rotary with Philosophy of Human Love!



一年を振り返って

中勢・伊賀グループガバナー補佐
宮上 史郎

国際ロータリー、イアンH.S.ライズリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」又、田山雅敏ガバナーの活動方針「未来を創造しよう」…10年後のロータリーは…のお考えやご要望をどのような形で表現し、実践すればよいか考えました。又、中勢・伊賀8クラブの更なる友情・信頼・交流・団結を深め、社会奉仕・青少年奉仕等の思いも込めて今までにない「IM」という事で、ロータリアン175人、知的障害のアスリート18名とボランティアの方々、総勢230名にて、8クラブ対抗の「ポッチャ競技大会」を盛大に開催致しました。開催テーマは「変化するロータリーを考える～スペシャルオリンピックスとのIM」といたしました。これは、知的障害のある方々の競技団体である「スペシャルオリンピックス日本・三重」の理解とアスリート達の社会参加への推進を行い、8クラブのロータリアン同志の友好を深め、お互いの10年先を見据えつつ、親睦と友情の「絆」が結ばれて、未来を創造してゆく事を願うものであります。

結果、大変なご好評を賜り、4月30日に上野RC様のお世話で伊賀にて、知的障害の方も含め「8クラブ親睦・交流ポッチャ大会」パートⅡを開催し、大変盛り上がり熱戦が繰り広げられました。そしてこの「ポッチャ大会」を8クラブで毎年持ち回りで続けていく方向で、このような深いご理解・ご協力をいただいた8クラブの会員の皆様には心から感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

又、地区大会開催地のガバナー補佐として、中勢・伊賀グループの会員諸兄には多くのご登録・ご参加を賜り、そして公式訪問や各クラブへの例会訪問の際には、大変な歓迎をいただき誠にありがたく心からの謝意を申し上げます。

末筆ながら、田山雅敏ガバナー様始め、地区役員の皆様のご指導そして、各クラブの会長・幹事様やロータリアンの皆様、各事務局の皆様には温かいご理解と絶大なご協力、ご支援を賜り、幾重にも厚く御礼申し上げます。

誠に有難うございました。



1年を振り返って

松阪・東紀州グループガバナー補佐
百木 孝司

今年度、松阪・東紀州グループのガバナー補佐として大役を

受けさせて頂き、各クラブ会長・幹事をはじめ会員の方々、及び、地区役員・委員の方々には大変お世話になり、まずもって深くお礼を申し上げます。

私にとって素晴らしい出会いが沢山あり、この1年は大変貴重な経験をさせて頂きました。そして、ロータリー活動の素晴らしさをさらに体験できたことに感謝いたします。

さて、田山ガバナーは地区テーマに、「未来を創造しよう」を掲げられ、活動方針とされました。2016年規定審議会において、大きな定款の変更が決定し、その内容はクラブの柔軟な自主性と言う事で、その本格的な実施が今年度からだったと言えます。その1年目として各クラブの在り方や、クラブの未来について問いかけるテーマだったと考えます。

田山ガバナーは、日本のロータリーの良き伝統は是非とも守り、未来に向けた変化を求められました。ガバナー補佐の役目として、いかに地区と各クラブ、クラブ会長とのパイプ役として、情報の伝達を行い、各クラブが更なる前進が出来るように、お役に立てればと考え、IMの計画、検討を行い、各クラブからのご協力のもと、多数の会員参加を頂き開催出来ました事と、更にはグループ全体が活性化し会員増強に繋がったことに、感謝申し上げます。

そして自分自身も成長できた1年間だったのではないかと感じています。



10年後の未来を創造しよう

伊勢・鳥羽・志摩グループガバナー補佐
小林 嗣雄

この1年間、田山雅敏ガバナー、地区役員の皆様、グループ6クラブ会長、幹事、会員の皆様、何事にも大変御協力頂き心より感謝申し上げます。

ロータリーは社会的には年齢が達していても必要とあらば大役を頂き、そこから別な意味での勉強ができ、自分自身への啓蒙ができる素晴らしい会であると改めて思いました。

各クラブ訪問時、毎回ニコニコBOXにて沢山の歓迎のお言葉を頂きその日はとても気持ちの良い一日が過ごせました。又地区目標である財団年次寄付に対して7月に6グループ訪問時5% upをお願いしたところ2月現在で10% up、目標を大きく超えています。

10月14-15日伊賀市文化会館にて開催された地区大会には6クラブ沢山対応して頂き、鳥羽RCは全会員登録とガバナー補佐を盛り上げてくれました。

10月29日鳥羽国際ホテルにてIMを開催致しました。台風22号の直撃を受ける中で開催し欠席者が多く出ると心配致しましたが、田山ガバナー様他登録者全会員が出席、安堵いたしました。テーマを「さあ、語ろう!! 楽しもう!! 未来(あす)のロータリーを」とし、元ロータリーの友編集長二神典子氏の基調講演と6クラブ12名のパネルディスカッションで外は大荒れでしたが、IMらしい意見交換の場所作りして頂き楽しく過ごさせて頂きました。

ガバナー補佐と言う経験を頂き一つ自分が少し大きく成った事、感謝申し上げます。



情報部門委員会

委員長
丸尾 謙二

ガバナー、ガバナー補佐、カウンセラー、委員会そして各クラブの皆様のおかげで、我国に適合するCLPを導入するために、当地区内全クラブの充実した「細則」の作成が完成をすることができました。具体的には、

1. 昨年に続き、第二回目のアンケート「クラブ細則改定の進捗状態？」を求める。同時に、完成したクラブの細則の他クラブへの開示の了承得ました。
2. アンケートの結果によっては、「細則の手引き」を送りました。また、これはガバナー公式訪問やガバナー補佐のクラブ訪問での資料として、役立つものとなりました。

今回このことによって、会員のロータリーへの理解が深くなり、明確なクラブ細則に則っての運営が、円滑なクラブ活動の基礎であることになったことがご理解できた方が多くなり大変喜ばしいことです。また、それは、クラブの理念の表明であり、未来に向けて進む方向を定めるものになったと思われまます。100年にわたり継承してきた誇りと伝統を堅持する基盤として、充実したクラブ細則作成のためにたゆまず情報を提供し続けるという委員会の明日へ続く使命を実行してきました。

本当に皆様1年間ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



広報・IT部門委員会

委員長
伊藤 松寿

委員会の名称が「広報委員会」から現「広報・IT部門委員会」と変わり2年を経過しました。広報部門については、国際ロータリーの広報の歴史をポールハリスの提言にさかのぼり、且つ23-34条項にも照らし、広報の歴史としてまとめました。IT部門では、最初の手がかりとして地区内の各クラブが開設しているホームページのチェックを行いました。

「広報」に関しては国際ロータリーの長期(戦略)計画の中の重要項目として捉えられています。いかにして、我々ロータリアンが、内外に向けて効果的な広報活動をしていくか問われています。その成功の可否が、ロータリー及びロータリアンの存在意義にまで及ぶことになると思います。

今後、あらゆる機会と場所をとらえ、協力を前進し

ていくことが、成功の鍵であると思います。



会員増強部門委員会

委員長
山本 和央

この1年間を振り返ってみますと、年初、田山雅敏ガバナーは、「クラブは会員基盤を広げ多様な会員の取り組みを計り積極的に会員増強に努めることから始まります。」と述べられました。大変、この言葉が私には印象深く残っております。会員純増3%を目指し、会員増強によるクラブの更なる活性化、10年後のクラブ運営を考える。このことは何を意味するのかと考えたとき、「ロータリアンの年齢層は少しずつ高くなってきております。それに反して会員数の減少が進みますとロータリアンであることの価値が低下し、ロータリーの公共イメージが損なわれます。各クラブの影響も低下してしまう。減少の根っこにある問題は何か。ロータリークラブは自己認識(アイデンティティー)の危機に瀕しているかもしれません。「ロータリーとは何でしょうか」という問いに、定義というものはあまりないんですね。解決策としてロータリーメンバーであるということはブランドであることを構築したらどうかとも言われてたりしています。

「ブランドとは自分たちに対する期待であって、人々への約束(ロータリアンでない人々への約束)、つまり自分たちがすること全てにおいて守っていく約束である。ブランドがもし確立すれば、ロータリーのブランドがシンプルでまたそれを見せる者全員に活力が生まれるものと考えます。

田山ガバナー及び事務所の皆様、ガバナー補佐の皆様、地区内ロータリアンの皆様には、多くのご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



職業奉仕部門委員会

委員長
山本 和彦

「職業奉仕」はロータリーの基礎基本だ、金看板だと言われます。しかし、同時に難しいとも言われます。「職業奉仕」が中々自分の言葉で語ることができない。難しさの背景には「ロータリー語」と言われる独特な言い回しの熟語や言葉使いも一因ではないかと捉え、その点に着目し言葉や熟語等を切り口に「職業奉仕」を見つめ直すことを主に考えました。アメリカ生まれのロータリーが社会情勢や思想も違う日本に入っ

てきた当時（大正・昭和初期）を鑑みながら表現方法や文章としての概念など今の時代に合う解釈について研究し「職業奉仕」の理念と実践に活かすべく地区の皆さんにそれらを発信する旨活動してきました。そこで、その集大成として当委員会のカウンセラーであります服部芳樹PGが渾身の思いで「ロータリー語ときあかし辞典」を作られ、2月に行われたセミナーでも資料として配布しました。言葉の意味だけでなくその成り立ち・バックボーンなど或いは宗教の用語までも駆使され大変分かりやすい内容で著されており、これからの2630地区のバイブルと言ってもいいほどの内容の資料だと確信しております。各クラブへはメールにて配信してありますので是非ともご一読いただければと思います。「職業奉仕」の理解に少しでもお役に立つことができれば幸いです。一年間ありがとうございました。



奉仕プロジェクト部門委員会

委員長
宮崎 弘夫

奉仕プロジェクト部門委員長を拝命して2年目の一年間が終わろうとしています。社会奉仕および国際奉仕と共に「奉仕プロジェクト部門」をどのように表現・活動して良いのかを自問し、「社会奉仕小委員会そして国際奉仕小委員会を支援する役目」と自分なりに判断するしかありませんでした。本年度各小委員会が篤実な姿で行う地域活動や海外支援活動は、正に「ロータリー活動の喜びや誇りの原点は奉仕に有り」と感動を与えられました。

しかし大きく身に感じたことは、地区内各クラブが奉仕活動に対して多くの危機感・違和感を持っているのではないかと、思えたことでした。会員増強・財団活動優先の国際ロータリーの指針と言うより、戦略が日本のロータリアンに不合理にも鼓吹される中、地区内ロータリアンは奉仕への意欲を見失っているのではないかと地区内各クラブへの卓話時に感じるのには委員会の中で私一人ではないと思いました。唱え継がれている哲学と倫理原則を基に奉仕の理想・理念を再び照査してみようと思います。



社会奉仕小委員会

委員長
河野 等

・地区内クラブからの依頼は4件に留まりました。地

区委員会の広報不足が原因であると考えられ、ひとつの反省材料にしたいと思います。

- ・今年度の地区補助金を活用した社会奉仕プロジェクトについては、財団部門補助金小委員会から早期に情報を頂ける体制ができ始めました。今回申請された27件の地区補助金を利用した奉仕活動が成功するよう支援を進めたいと考えます。
- ・昨年度から続けてきた三重県の湧水の災害時の活用を各クラブと共に完成させるため今後も努力していきたいと思います。
- ・九州北部豪雨の募金を、委員会が実施した結果、約15万円の義捐金を集めることができました。また台湾東部地震にも地区内クラブが義捐金を送付する活動を実施しました。
- ・3月にはロータリアンが意識する環境保全について各クラブにアンケートを依頼し、すべてのクラブからご回答を頂きました。この結果は早急に公表し、更に環境への配慮を頂くよう広報してまいります。皆様のご協力に深く感謝いたします。



国際奉仕小委員会

委員長
篠原 一行

当委員会は、地区内76の各クラブに対して、世界の恵まれない人々への支援をしようというロータリーの国際的奉仕活動をご理解頂き、それを積極的に実践しようと、各クラブでの卓話や地区研修・協議会等においてお願いしてきました。

また地区内の各クラブが取り組んだ国際奉仕プロジェクトに、資金援助が必要な場合その申請を受け付け、企画・内容等の審査を行い、6つのクラブ等に支給しました。

そして、地区内クラブに先駆けて地区事業として、グローバル補助金制度を利用した事業、3330地区との共同プロジェクトを行いました。タイ国クラビ地方の小学校への水の浄化プロジェクトシステムです。色々と勉強させて頂き、GGの素晴らしさを改めて感じました。活動内容や完成した時の地域住民との喜び等、皆様にその詳細な手法や経過や結果等を色々な場所でお話しさせて頂いています。

各クラブの皆様方には、補助金有りきではなくて、地域のニーズをしっかりと調査して、こんな素晴らしい事業があるから、どうしたらできるかと、気軽に地区委員会に相談して「世界で良いことをしよう」と是非挑戦して欲しいと思います。



青少年奉仕部門委員会

委員長
伊藤 靖則

2010年、「青少年奉仕」はロータリー第五の奉仕部門となりました。

標準ロータリークラブ定款第6条には「青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者にとって、好ましい変化がもたされることを認識するものである。」と記載されています。当地区においてもその目的を達成すべく「ローターアクト」「青少年育成」小委員会「青少年交換」「インターアクト」部門委員会をはじめ、各クラブ、ロータリアンの皆様が青少年の模範たるべく、多種の活動に熱心に取り組んで頂いてと思います。

しかしながら「ローターアクト」についてです。「ローターアクト」とは、18～30歳の若者を対象に、奉仕を指向する指導者を育成するためにロータリークラブが提唱する団体です、当地区には、現在7つのRAのクラブがありますが、歴史あるクラブほど会員減少に悩んでいます。高校のクラブとしてすっかり定着しています「インターアクト」とは違い、RAは、維持継続がとても難しくなっています。RAを盛り上げるためには、提唱クラブだけではなく、当地区すべてのクラブ、ロータリアンのご理解とご協力が欠かせません。所見のある若者は、すぐ近くにもいるはずで、積極的に青少年奉仕プログラムへの参加を呼び掛けて頂きたいと思えます。そして心をこめて若者たちを歓迎しましょう。



ローターアクト小委員会

委員長
伊藤 正純

今年度、委員長という大役を拝命しバタバタとしながら早くも1年が経とうとしています。地区へ出向し初めての事ばかりで大変でしたが委員会の重要性がよく分かり、良い経験をさせて頂きました。皆様方には御支援と御指導を賜り誠に有難うございました。

ローターアクトクラブが初めてアメリカに発足して、今年3月で50周年を迎え第2630地区では創立45年と歴史のあるクラブがあります。

現在、当地区にはローターアクトクラブが7クラブあり 会員数は約100名が登録されており内1クラブが活動休止中であり、歴史のあるクラブほど会員数が減少

状態です。ローターアクトクラブは、会員が中心となり企画から運営までボランティア活動を通じ地域社会に様々な貢献をしながら自分自身が学び成長していく団体です。

ロータリアン皆様の会社の若手社員教育にもバッチリ適応したローターアクトクラブです。是非、入会のご紹介を宜しくお願い申し上げます。

そして提唱クラブ以外のロータリアンの皆様もローターアクトクラブ活動に少しでも御参加いただき御理解と御協力の程、宜しくお願い申し上げます。



青少年育成小委員会

委員長
下田 徳彦

国際ロータリーが目指す世界平和の重要な一翼を担っている青少年交換委員会として、委員会メンバー、受入学生、派遣候補生、各クラブ関係者、ホストファミリー、保護者の方々と一緒になり事業活動を無事に進められたことを感謝いたします。

本年度の学生状況は、受入学生は8名、派遣候補学生は5名の合計13名で、それぞれが充実した、価値ある1年にする為に、毎月オリエンテーションを開催してコミュニケーション力を習得しております。また屋外に出て日本の知見を広げる「広島方面への夏期研修旅行」、加賀修PGのお世話になる「日本文化体験作陶研修」、「多地区合同白馬交換学生スキーの集い」、「虎渓山永保寺における座禅研修」等の体験をイン・アウト交換学生全員で行動し、繋がりを深め、言葉の壁を越えた友情を築き上げています。

また次年度の派遣候補生募集を考えた活動として、委員会メンバーは、国際ロータリーの青少年交換プログラムの有意性を多くの人に知っていただくように 岐阜・三重両県下の高校や教育機関等に足を運び、説明とポスターの掲示を行っていることを報告させて頂きます。



青少年交換部門委員会

委員長
永尾 壽啓

委員長2年目として前年に引き続き、「出前講座の普及」に取り組んで参りました。これまでの活動を手短かにまとめた「出前講座ダイジェスト版DVD」を作成し、プレゼンの機会に活用したところ、多くの方から感銘の声をいただいたものの、実際の普及成果にはつなが

らなかつたことを反省しております。対外的な面では、教育行政との情報交換の中で今後学習指導要領が変わり、キャリア教育の重要性が益々高まっていくことを確認できました。また教育行政からのロータリークラブへの期待度も益々高まっていくと感じています。これらの活動を振り返り、出前講座の普及以前に、まず多くのクラブメンバーにキャリア教育の必要性について理解を深めていただくこと、地域の次代を担う子どもたちにとって私たちができる職業奉仕活動として「出前講座」がひとつの具体的な活動であることを知っていただくことが重要であると感じています。次年度も委員長留任させていただくにあたり、今年の実省を次年度に活かしていきたいと思ひます。どうぞ引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



インターアクト部門委員会

委員長
榊原 成人

地区インターアクト部門は昨年の4月より韓国派遣の募集・面接・オリエンテーション、IA顧問教師・提唱クラブの次年度会長担当委員長との教師部会等本年度の活動が始まり、7月・8月には韓国3600地区とのIA年次大会相互訪問派遣事業を生徒24名顧問教師1名委員会3名参加で行い韓国からは生徒25名顧問教師2名委員会2名の受け入れ交流をしました。8月からは各地で年次大会・協議会が開催されましたが、地区委員会は参加と補助をしているだけで担当されているホスト高校・RCの方々の努力と情熱で成功裏に、生徒たちの笑顔の中で行われました。大変なご苦勞をお掛けしましたが、IA生徒・顧問教師の方々と普段にもまして深い交流と思ひ出を持って頂けたと思ひます。来年以降に担当される方々は不安を持たれる事が有るかもしれませんが、生徒達は皆さんの期待以上の行動・アイデア・笑顔を見せてくれる事でしょう。未提唱の皆さんは一度オブザーバーとして活動を見て頂ければその良さ・可能性を御理解いただけると思ひます。最後に未熟な委員長活動を助けて頂き、有難うございました。来年以降も布目次期IA委員長に同様の御助力をよろしくお願ひ致します。



ロータリー財団部門委員会 補助金小委員会 学友委員会

委員長
辻 正敏

お陰様で2年目の委員長が終了しようとしていま

す。皆様のお力添えで寄付の増進も図られました。ポリオ撲滅にもたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。そしてクラブで行われる事業でポリオ募金箱を使つての募金活動には、ロータリアン以外の方々から多額の寄付が寄せられていることに心より感謝を申し上げます。

また補助金の活用ですが、今年度も様々な事業が地区内各地で展開されましたし、申請を受付けました次年度事業もきっと素晴らしい成果を上げられるものと期待をさせていただいております。また地区補助金による奨学生も予定の1名が、何とか地区委員の皆さんの努力で2名送り出すことができました。お二人とも当地区の伝統と言つても良い芸術学術分野の優秀な方たちです。

このような一年になりましたのは、皆様のロータリー財団へのご理解が年々深まり、その思ひが御寄付という形で寄せられた賜物と改めて感謝いたしております。

どうかこれからも「世界でよいことをしよう」を合言葉に続いていくロータリー財団活動にさらなるご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。一年の御礼といたします。ありがとうございました。



資金推進小委員会

委員長
平井 義之

当小委員会は、ロータリー財団の使命である「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする」にもとづき、さらなるご理解とご寄付の増進をお願いする委員会です。

微力ながら年2回（7月・10月）の財団セミナーやロータリー財団に関する卓話講師の派遣等、皆さまの暖かいご支援のおかげで予定通りに進行することができ、ありがとうございました。

特に年次基金寄付目標につきましては、2630地区全76クラブが目標を設定して頂きました。重ねてお礼申し上げます。

さて、『世界でよいことをしよう』というロータリー財団のモットーは自分達の住む地域とともに広く世界にも貢献しようという標語です。

ロータリー財団はロータリアンお一人お一人の尊い寄付によって支えられています。その50%は地区やクラブに還元され、クラブの補助金事業に活用されています。残りの50%は、ポリオ撲滅に代表され

る国際的な人道支援に役立てています。

このようなロータリー財団の活動により一層のご支援を賜われますようよろしくお願い申し上げます。



ポリオ・プラス小委員会

委員長
故金 正司

一年間ポリオについての学びを沢山させて頂きました。

財団の各委員会、田山ガバナー事務所、地区事務所、そして日本財団の皆様にはご指導頂き心より感謝申し上げます。

今年度の小委員会の目標であるポリオについての情報提供、そしてポリオ募金の推進活動をテーマに小委員会メンバーと各クラブへの募金活動のお手伝いに参りました。RIの方針であるポリオ撲滅まであと一歩。毎年10月24日は世界ポリオデーです。今後共活動にご協力をお願い申し上げます。



資金管理小委員会

委員長
山田 正史

日頃は地区ロータリー財団委員会に御支援・御協力・御理解を賜り有難う御座います。

資金管理小委員会は皆様方から頂いたご寄付で地区内のクラブがロータリー財団補助金を活用して事業を行う場合に、各クラブがロータリー財団から補助金として届く資金を確実に受け取り、計画した事業に適切に活用していただくため「授与と受諾の条件」をしっかりと理解していただき各クラブと地区の間で「MOU」と呼んでいる覚書を交わし、実施される事業がより効果的にそして有意義に実践されるためのお手伝い出来るように日々頑張っております。これも皆様方から頂くご寄付から成り立っていることを念頭に置き、各クラブと地区とのより確実な信頼関係を「MOU」に定められたように行うことでより強固にしたいと考えております。

そして皆様方から頂いた寄付金をしっかり管理してロータリー財団補助金を活用した奉仕の実践事業が有意義に行われるように望んでおります。御寄付御寄附の一年で御座いましたがこれから先も皆様のご協力以外に御座いません。今後共何卒御寄附よろしくお願い申し上げます。

今後財団のセミナーが2回御座います、皆様にご理解していただくよう精一杯説明をさせていただきますので参加して頂きますようお願い申し上げます。



米山記念奨学部門委員会

委員長
村瀬 祐治

〈ロータリー米山記念事業 それは“平和への人づくり”です。〉

ロータリー米山記念事業は貧しい留学生への支援が目的ではありません。勉学への真摯な姿勢を持ち、将来有望な留学生に平和を願う日本人の心、家族のような温かさ、そして、ロータリー精神を伝えています。

やがて彼らはそれぞれの道に進み、あるものは母国の発展に尽くし、また、ある者は自ら体験した日本を母国の若者たちへ語り伝えています。

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋を掛ける国際奉仕事業だと思っております。

米山奨学事業の目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」ですが、第2630地区は、三重県・岐阜県で構成され南北長い地域であり大学の無い地域が多くあり、また、クラブ創立以来世話クラブを受けていないRCがあります、世話クラブを受けていないため、米山奨学事業へのご支援・ご理解が希薄なRCが多くあります。

そこで今期より世話クラブ依頼は、大学からの距離・クラブ人数に関係なくすべてのRCに順番に依頼することとなり原則として現在76RC奨学生15名とすれば5年に一度は世話クラブを受けて頂きますようお願いいたします。

留学生との交流・情報交換は友好の絆を作ると共にRCにとっても良い影響があると考えており感動を感じてください。

末筆となりましたが、今期、田山雅敏ガバナーの指導のもと米山奨学事業が遂行できたことに感謝申し上げますと共に、各クラブメンバーの皆様・委員会メンバーの皆様の温かいご支援に感謝とお礼を申し上げます。

グローバル補助金の活用と今後の打ち合わせ ～タイ地区大会報告～

第3330地区（タイ南部）の地区大会にてグローバル補助金を使って当地区より飲料水浄化装置の贈呈を4月7日（土）に行いました。これにより、3つの学校、1,180人の生徒にきれいな水を供給することが可能となります。完成は夏頃の予定です。約4万ドルの事業です。また第3350地区（タイ、バンコク）と共同で、タイ東南部を中心に教材が不足している過疎の小学校に英語教材、そして先生が生徒に授業等で説明する本等の贈呈を次年度事業で実施

すべく申請に係る手続きに入りました。全体では5万ドルのプロジェクトです。現在のところ地区委員会が主導していますが、今後は各クラブからの提案を受けて地区全体でバックアップし、意欲ある各クラブを全面サポートしていくこととなります。4月8日（日）に第3350地区のバスターガバナー2名、そして担当のクラブの会長以下3名の計5名の皆様方とバンコク市内で私と宮崎／篠原両地区委員長を交え打ち合わせを行いました。

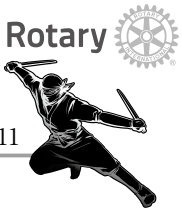


台湾東部地震義捐金について

台湾東部地震の義捐金として4月11日に第1次義捐金2,075,430円をガバナー会事務局へお送りしました。

委員会活動報告

Governor's Monthly Letter 2018 May Vol.11



月	開催委員会名	開催場所	主な内容
12月	・青少年交換部門(17日)	岐阜都ホテル	第6回委員会の開催 来日学生・派遣候補生の言語習得オリエンテーション 2016-17年度春期受入学生修了証書授与式
1月	・会員増強部門(10日)	ホテルグリーンパーク津	1月13日セミナーの打合せ
	・奉仕プロジェクト部門(13日)	名鉄グランドホテル18F 涵梅舫	①委員長挨拶 ②WCS補助金申請事業について ③グローバル・グラントについて ④卓話依頼について ⑤次年度委員会構成について ⑥その他 引継ぎ懇親会
	・会員増強部門(13日)	ホテルグリーンパーク津	会員増強セミナー三重県開催・グループ別分科会(6グループ別分科会報告開催・ガバナー補佐を中心に90分間増強について啓蒙を図る。)
	・会員増強部門(20日)	岐阜グランドホテル	会員増強セミナー岐阜県開催・グループ別分科会(6グループ別分科会報告開催・ガバナー補佐を中心に90分間増強について啓蒙を図る。)
	・米山記念奨学部(20~21日)	名鉄ニューグランドホテル	①面接官オリエンテーション ②米山奨学申込者28名面接(1名は面接会場へ来訪せず) ③評価判定会(13名決定)・世話クラブ配属選考(13RC)
	・青少年交換部門(21日)	ホテルグランヴェール岐山	第7回委員会の開催 春期・夏期来日学生・派遣候補生の言語習得オリエンテーション
	・ローターアクト小委員会(21日)	じばさん三重・研修室G	第2回ローターアクト小委員会・地区RAC活動報告・計画・各RAC上期活動報告、下期計画・RCからRACへのサポートについて・第40回ローターアクト年次大会開催の案内・その他
	・職業奉仕部門(26日)	名鉄グランドホテル12F 四季	2月25日開催の職業奉仕委員会セミナーについて、内容、タイムスケジュール等の詳細について、協議。松阪山桜RCへの卓話訪問
2月	・社会奉仕小委員会(3日)	桑名 丁子屋	①地区研修・協議会などで発表する内容の検討内容の確認 ②新委員会メンバー候補者と連絡と選任メンバーの意向再確認 ③アンケートの実施是非の検討と次回委員会日程決定 以上を議論して決定した。次回3月31日 奉仕プロジェクト部門合同委員会とする
	・ローター財団部門2018-19年度委員長会議(9日)	岐阜 ホテルパーク	2018-19年度会長エレクト研修セミナー(PETS) 担当部分の内容検討
	・会員増強部門(12日)	名鉄グランドホテル	新会員研修セミナー開催：1.田山雅敏ガバナーの基調講演「変化するローターを考える」・情報部門委員会丸尾謙二委員長より「ローター情報について」説明。2.新会員発表：各グループより1名(12名)を選出し、標語「入会后、ローターについて関心を持ったこと。」発表会開催
	・地区研修委員会(12日)	名鉄グランドホテル18F 涵梅舫	地区研修・協議会の打合せ
	・ローターアクト小委員会(18日)	ソフトピアジャパンセンタービル 10F会議室3	1. 第3回会長幹事会(四日市・四日市大学RAC) 報告 2. 全国ローターアクト研修会 最終確認(地区) 報告 3. 第40回地区年次大会 計画(予算四日市RAC) 審議 4. 第2回地区RA小委員会 結果(地区) 報告 5. 第3回地区RA小委員会(地区) 報告 6. 第2回ソニ会議 結果(地区) 報告 7. 第5回会長幹事会(大垣西RAC) 報告 8. 末期について・その他 協議
	・青少年交換部門(25日)	ホテルグランヴェール岐山	第8回委員会の開催 春期・夏期来日学生・派遣候補生の言語の習得オリエンテーション
	・インターアクト部門委員会(25日)	安部ホール	今後の委員会予定の確認と内容の討議(次年度に向けて)
	・職業奉仕部門(25日)	岐阜都ホテル2F Ballroom	地区職業セミナーを開催。服部芳樹カウンセラーの基調講演、職業奉仕及びローターリーについてのQ&A
3月	・ローター財団部門・補助金小委員会(3日)	安部ホール	2018-19年度地区補助金申請書審査
	・ローターアクト小委員会(17~18日)	茨城県県民文化センター	第30回全国ローターアクト研修会 1日目、全国のローターアクトによる情報交換・親睦交流を深める研修会。研修プログラムでは、水戸市に関する歴史・伝統・食・自然を各グループに分かれ体験・学習しました。2日目、各地代表が集まり代表者会議が行われ前期全国研修会の決算報告と反省、次期全国研修会の企画・予算が報告されました。次年度の第31回全国RA研修会は、福岡にて4月28-29日開催となります。その他一般会員は、基調講演に参加しました。閉会式では、次期各地代表者の所信発表が行われ閉会となりました
	・職業奉仕部門(23日)	名鉄グランドホテル12F 四季	職業奉仕委員会セミナーの反省、地区協議会への対応について、新入会員の推薦等について協議
	・米山記念奨学部(24日)	名鉄ニューグランドホテル	①第5回米山記念奨学部委員会 ②2017年度米山奨学期間修了者修了証書授与式、カウンセラー感謝状贈与式
	・ローター財団部門次期正副委員長会議(24日)	安部ホール	2018-19年度地区研修・協議会打合せ
	・青少年育成小委員会(24日)	安部ホール 405号	活動報告 地区青少年育成セミナーについての協議
	・情報部門委員会(25日)	湊一や	①3年計画書の活用として半年度の考え方から、長期計画を垂れる仕組みの行かどうか ②基本的な考え、委員会は官能的な仕事に徹する。ガバナーやガバナー補佐が政治家 ③委員会は、資料を作り、ガバナーやガバナー補佐や各クラブに配布 ④実行していただくように、ガバナーとガバナー補佐に依頼して、各クラブ訪問指導 ⑤その後各クラブから、その後の実行状況のアンケートをとる ⑥実行状況のアンケート結果をガバナーとガバナー補佐に渡し指導をしていただき、目標達成、「クラブ活性化アンケート」など作りアンケートをとるとクラブ活性化する
	・青少年交換部門(26~28日)	白馬東急ホテル	白馬スキーの集い・青少年交換部門 第9回委員会の開催・春期・夏期来日学生・派遣候補生の言語習得オリエンテーション
・奉仕プロジェクト部門(31日)	喜多八	地区研修・協議会の内 奉仕プロジェクト部門 分科会開催について 1. 進行 2. 会場設営 3. 次年度方針の確認 4. 配布資料 5. 役割分担、他	

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2018年3月31日現在

グループ	ク ラ ブ	出席率	例回数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐 阜 A	岐 阜	85.24	5	85	85	85	1	0
	岐 阜 西	81.86	3	54	54	53	0	-1
	岐阜長良川	91.63	5	53	53	50	0	-3
	岐 阜 北	90.24	3	30	30	32	1	2
	岐 阜 中	74.07	3	27	27	27	1	0
	グループ計(5)	84.61		249	249	247	3	-2
岐 阜 B	岐 阜 南	79.25	4	101	101	103	8	2
	岐 阜 東	71.43	3	50	50	50	1	0
	岐阜東南	89.88	3	36	36	37	0	1
	岐阜加納	74.92	5	68	68	71	2	3
	岐阜エトス	71.49	4	17	17	19	2	2
	岐 阜 城	100.00	3	14	14	15	0	1
グループ計(6)	81.16		286	286	295	13	9	
岐 阜 西 濃	大 垣	80.46	3	84	84	86	0	2
	大 垣 西	86.58	4	78	78	80	0	2
	本 巢	83.90	4	28	28	31	0	3
	羽 島	82.91	5	28	28	28	3	0
	不 破	88.60	4	36	36	34	0	-2
	大 垣 中	84.94	4	39	39	40	0	1
	大垣センチュリー	77.19	4	49	49	51	1	2
	岐阜淡墨	98.75	5	14	14	16	1	2
	岐阜サンリバー	95.83	4	18	18	20	4	2
	グループ計(9)	86.57		374	374	386	9	12
岐 阜 東 濃	多 治 見	79.06	3	50	50	51	3	1
	中 津 川	75.36	5	73	73	74	2	1
	瑞 浪	96.43	3	56	56	56	0	0
	恵 那	78.80	4	35	35	49	1	14
	土 岐	87.50	4	41	41	41	1	0
	多治見西	79.15	4	36	36	37	4	1
	中津川センター	72.50	3	45	45	48	1	3
	多治見パーサイド	84.75	4	38	38	41	1	3
	グループ計(8)	81.69		374	374	397	13	23
東 海 北 陸 道	美 濃	77.92	4	30	30	28	0	-2
	各 務 原	57.31	3	23	23	25	0	2
	関	96.42	3	44	44	49	2	5
	郡上八幡	90.55	4	39	39	39	0	0
	関 中 央	71.55	4	32	32	31	0	-1
	郡上長良川	77.78	3	30	30	33	6	3
	各務原中央	63.04	4	27	27	28	3	1
	各務原かかみの	90.00	3	10	10	10	2	0
	グループ計(8)	78.07		235	235	243	13	8
	濃 飛	高 山	80.49	4	39	39	40	0
下 呂		81.82	3	21	21	22	0	1
高 山 西		82.50	4	39	39	40	0	1
美濃加茂		87.11	4	32	32	33	4	1
可 児		72.72	3	29	29	30	0	1
可 茂		100.00	3	10	10	7	0	-3
高山中央		81.55	3	59	59	56	4	-3
グループ計(7)		83.74		229	229	228	8	-1
岐阜県合計(43)	82.64		1747	1747	1796	59	49	

グループ	ク ラ ブ	出席率	例回数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑 名 員	桑 名	97.08	4	41	41	43	0	2
	桑 名 西	87.76	3	35	35	34	0	-1
	桑名中央	88.61	4	27	27	29	2	2
	桑 名 北	91.43	4	34	34	35	11	1
	グループ計(4)	91.22		137	137	141	13	4
四 日 市	四 日 市	98.06	4	91	91	95	0	4
	四日市北	79.66	4	21	21	22	5	1
	四日市西	95.15	4	67	67	67	4	0
	四日市南	83.33	3	33	33	38	3	5
	四日市東	100.00	3	40	40	40	1	0
	グループ計(5)	91.24		252	252	262	13	10
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	80.34	3	62	62	64	8	2
	鈴 鹿 西	71.35	4	42	42	42	7	0
	鈴鹿ベイ	77.78	3	12	12	12	0	0
	亀 山	62.27	4	15	15	16	0	1
	鈴鹿シティ	83.33	3	62	62	63	4	1
グループ計(5)	75.01		193	193	197	19	4	
中 勢 ・ 伊 賀	津	94.57	3	58	58	65	0	7
	上 野	98.70	4	36	36	42	1	6
	名 張	94.07	4	34	34	36	1	2
	津 南	96.33	4	48	48	46	2	-2
	津 北	86.30	4	40	40	40	3	0
	上 野 東	100.00	5	34	34	40	3	6
	久 居	84.62	4	25	25	28	1	3
	名張中央	83.66	3	24	24	23	1	-1
	グループ計(8)	92.28		299	299	320	12	21
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	87.43	3	75	75	78	0	3
	松 阪 東	84.17	4	57	57	59	11	2
	熊 野	66.67	5	35	35	36	5	1
	尾 鷲	58.84	3	12	12	12	2	0
	松阪山桜	82.90	4	38	38	38	4	0
	グループ計(5)	76.00		217	217	223	22	6
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	89.78		59	59	58	0	-1
	鳥 羽	74.04	3	32	32	33	4	1
	伊 勢 南	89.04	5	41	41	43	0	2
	志 摩	75.12	4	47	47	48	11	1
	伊勢中央	97.29	4	48	48	48	0	0
	伊勢度会	100.00	3	14	14	15	4	1
	グループ計(6)	87.55		241	241	245	19	4
三重県合計(33)	86.05		1339	1339	1388	98	49	
地区合計(76)	84.12		3086	3086	3184	157	98	

■2017年3月(前年度)出席報告

	出席率	期 首	月 末	うち女性	増 減
岐阜県合計(44)	84.10	1,731	1,781	58	50
三重県合計(33)	85.61	1,347	1,360	91	13
地区合計(77)	84.75	3,078	3,141	149	63

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

会員動静報告 (敬称略)

2018年3月分

入会会員



岐阜RC 牧田謙之助 2018.3.16入会 マーケティングコンサルティング	岐阜南RC 松本宰治 2018.3.8入会 建築デザイン	可児RC 佐伯 景 2018.3.15入会 建設業	可児RC 細野昌暢 2018.3.15入会 金属加工業	四日市北RC 秦 光義 2018.3.6入会 コンサルタント業	四日市東RC 河本泰洋 2018.3.5入会 住宅設備機器取付施工	鈴鹿RC 大野太平 2018.3.28入会 総合建設業	亀山RC 森口喜義 2018.3.1入会 PLG卸売業	津南RC 羽根昌江 2018.3.6入会 薬剤師	上野東RC 中村 浩 2018.3.1入会 セメント販売
---	---------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--	--	--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------



松阪東RC
小林秀行
2018.3.5入会
農産物生産

尾鷲RC
小林大輝
2018.3.1入会
弁護士

退会会員

所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
岐阜RC	坂本 宏	男	2018.3.31
岐阜RC	中島 啓	男	2018.3.31
大垣RC	尾藤 有康	男	2018.3.31
桑名西RC	森 哲哉	男	2018.3.31
四日市RC	谷 公伸	男	2018.3.31
四日市RC	三重鉄太郎	男	2018.3.31
四日市RC	宮本 勉	男	2018.3.31
鈴鹿シティRC	北畑 達也	男	2018.3.28
津RC	山田徹太郎	男	2018.3.7

所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
津RC	大津 光浩	男	2018.3.31
名張RC	江見 肇	男	2018.3.23
津南RC	阿部 祐司	男	2018.3.13
津南RC	千代延郁男	男	2018.3.13
津南RC	萩原 大	男	2018.3.20
津北RC	三島 茂雄	男	2018.3.8
松阪RC	藤本 輝秋	男	2018.3.31
伊勢RC	伊藤 陽久	男	2018.3.20
伊勢RC	山中 則俊	男	2018.3.20

2018年2月分

入会会員



岐阜西RC
松原さとし
2018.2.5入会
不動産仲介業

逝去会員

読んでご冥福をお祈り申し上げます

岐阜西RC



平工幸二
1998.7.6入会
2018.3.8逝去
理事
P.H.Fマルチプル
米山功労者

【表紙写真】

「余野公園つつじ祭り」

鈴鹿国定公園の特別地域に指定されている余野公園には15,000本のつつじが自生しており、その規模は関西随一を誇ります。当日はステージイベントと地元自治会や各種団体による飲食ブースの出店等があります。

お問い合わせ いがまち観光振興会 ☎0595-45-8488・余野公園管理棟 ☎0595-45-6421

忍びのアイテム

～其の九～



【仕込杖】

関所を越えるために旅人が持つ杖や僧に変装し錫杖に剣を仕込んだもの。鎖や分銅、目潰し、槍などを仕込んだものもある。

〈協力〉(一社)伊賀上野観光協会



俳聖の一句

何の木と花とはしらず句哉

何という木の花とも知らないまま、神域にはよい匂いが漂ってくる。
二月四日伊勢の外宮に参詣した折の吟。

貞享五年(二六八八)春 伊勢神宮にて

〈協力〉(公財)芭蕉翁顕彰会

伊賀越

伊賀越 株式会社

〒518-0131 三重県伊賀市ゆめが丘7-2-1

TEL:0595-22-0252

<http://igagoe.tennengura.jp/>

伊賀越は、
この地伊賀にて140年余。
ゆっくりあせらず天然醸造。

天然
醸造が
醸す



住む人の心を大切に

株式会社 中里工務店



本社 www.nakazatokoumuten.co.jp/ (0595)
〒518-0835 三重県伊賀市緑ヶ丘南町 4408-7 ☎ 21-5303

名張店 <http://cafe-rink.com/> (0595)
〒518-0624 三重県名張市桔梗が丘 4-1-4 (R+INK) ☎ 41-2188

建築家と建てる家を、身近に、手軽に
R+house
伊賀・名張・鈴鹿・亀山

R+INK
から花がよるこぶ ごほんとおうち

2017-2018年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30～17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務局	〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内57-4 センタービル3F TEL 0595-41-2631 FAX 0595-41-2632 E-mail 1718@rid2630.org ホームページ https://www.rid2630iga.org	執務時間 9:30～16:00 (土・日・祝日 休務)